

LION's SUSTAINABILITY 2023

～より良い生活習慣づくりで取り組むSDGs～



今日を愛する。
LION
発行者
ライオン株式会社

お問い合わせ先
ライオン株式会社
〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28
<https://www.lion.co.jp/>
03-6739-3711



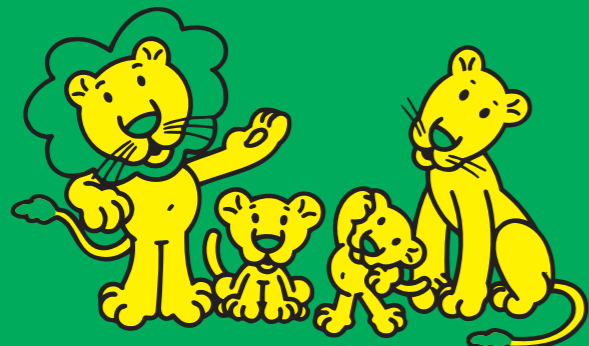
ReDesign

より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する

ライオンは毎日の習慣が、人々の心と身体の健康の実現に加え、サステナブルな社会の実現にも大きな役割を果たすという考えのもと、「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)」をパーパス(存在意義)に掲げています。

そんな当社だからできるSDGsへの取り組みをご紹介します。

SDGsの達成に向けては当社だけでは解決できない課題がたくさんありますので、いっしょに取り組んでいきましょう。



ライオンだからこそ
役に立てる
SDGs

SDGsって
何ですか



「Sustainable Development Goals
(持続可能な開発目標)」の略称。

2015年9月の国連サミットで
採択されたもので、
国連加盟193ヵ国が2016年から
2030年の15年間で
達成するために掲げた
17個の目標です。

(国際連合広報センター
Webサイトより引用)



目次

ライオンのこと

P.3 SDGsに通じるライオン130年の取り組み

生活者と一緒に行動する 習慣づくり

P.7 予防歯科習慣づくりで
心と身体の健康の実現

P.13 清潔衛生習慣づくりで
心と身体の健康の実現

P.17 節水・節電型商品を使う
習慣づくりで
脱炭素社会の実現

P.19 4Rの習慣づくりで
資源循環型社会の実現

P.21 楽しい家事シェア
習慣づくりで
ジェンダー平等の実現

従業員と一緒に行動する 習慣づくり

P.23 従業員の成長と会社の発展の実現
——ライオンで働く人たち

P.25 社会や環境に配慮した原材料の
調達・使用

P.27 生物多様性保全活動

P.29 パートナーと目指す
持続可能な社会の実現

コメント/会社概要

P.31 サステナビリティ専門家からのコメント/
会社概要

SDGsに通じるライオン130年の取り組み

ライオンが取り組んできた環境・社会課題解決への歴史

事業を通じて社会のお役に立つ



創業者 初代
小林富次郎

ライオンは、2021年10月に創業130周年を迎えました。
1891年の創業以来、創業者である小林富次郎の言葉「事業を通じて社会のお役に立つ」という精神のもと、環境や社会の課題解決に対し事業を通じて取り組んできました。



人々の健康な毎日を目指して、商品の提供とともに、暮らしに役立つ情報発信やより良い習慣づくりなどを推進してきました。
今後もライオンは、時代とともに変化する社会課題に対応しながら、一人ひとりの価値ある未来に向けた“今日”に貢献するために、SDGsの達成に向けた取り組みを継続します。

1950年代
ジェンダー

女性の家事に貢献

食器洗い洗剤では日本初の商品であり、人々の健康を守ると同時に、女性の家事軽減に大きく貢献しました



『ライポン-F』

戦後、食生活の変化により野菜を生で食べる人が増える一方、洗浄不足に起因した、野菜に付着した寄生虫による健康被害が深刻化。厚生省(当時)から開発要請を受け、日本初となる野菜・果物・食器洗い専用洗剤が誕生しました

1891 1896 1900 1913 1932 1956



創業者 初代 小林富次郎が
小林富次郎商店を開設

社名の由来

1896年にハミガキの製造を開始。当時、ハミガキの商品名にはゾウ、キリン、トラなど動物の名前が流行していたため、当社は百獣の王であり丈夫な牙をもつ「ライオン」がふさわしいと『ライオン歯磨』と命名。
これが、のちの「ライオン」という社名の由来になりました



社会貢献活動の原点

1900年『慈善券付ライオン歯磨』を発売。『ライオン歯磨』の袋の裏に印刷した慈善券をお客様が児童養護施設など慈善団体に贈り、その枚数に応じてライオンが寄付をする仕組みでした。現在のベルマーク運動に似た仕組みです



口腔衛生の認知拡大

「第1回ライオン講演会」を開催(口腔衛生普及活動を開始)



子どもに正しい歯みがきを

「学童歯磨教練体育大会」(現・全国小学生歯みがき大会)を開催。子どもたちに正しい歯みがき方法を指導しています

1930年代
オーラルケア

歯みがき習慣に貢献

子どもたちの歯の健康を守りたい、という想いで当時から啓発活動を行っていました。歯みがきを毎日行うことで生活にリズムが出て、心や身体の健康につながっています

SDGsに通じるライオン130年の取り組み



1990年代
清潔衛生

食中毒への対応
1996年、病原性大腸菌O-157による食中毒の集団感染が発生し、社会問題となりました。子どもたちをウイルスや細菌から守るために、正しい手洗いの習慣化の使命から「キレイキレイ」が誕生しました



『キレイキレイ 薬用ハンドソープ』
「楽しく洗える殺菌ハンドソープ」として誕生。「正しい手洗い習慣づくり」にも取り組んでいます
詳細は P.13

2010年代
清潔衛生



出張授業
手洗いの習慣が重要と考え、社員が全国の幼稚園や保育所に出向き手洗い歌を一緒に歌うなどの活動を、また、小学校では手洗いの重要性を一緒に考える授業を行い、子どもたちに手洗いの大切さを伝えています
詳細は P.15

ジェンダー平等やインクルーシブ・オーラルケアは考え方としては新しいですが、ライオン創業者の言葉「事業を通じて社会のお役に立つ」という精神に通じるものがあります。
ライオンは創業当初から様々な社会貢献活動を行ってきました。

2020年代～
ジェンダー



Kaji x Kaji ハッピーシェア
家事の役割と性別の組み合わせは自由なはずと考え、家事を通じて家族みんなが幸せになれるよう、家事セミナー開催などの活動を行っています
詳細は P.21

1967 1973 1997 2010 2014 2021

『ダッシュ』
ライオンが世界で初めて工業化に成功した、生分解性に優れた洗浄成分AOSを配合した洗剤



1960～70年代
エコ

環境問題への対応
1960～70年代、河川の発泡や湖沼の富栄養化が発生。この問題への対応として生分解性の高い洗剤成分の開発や洗濯用洗剤の無リン化を進めました

『せせらぎ』
日本で初めて発売した無リン洗剤



『トップNANOX』
(現『トップスーパーNANOX』)
近年、省資源の観点から、製品のコンパクト化によるプラスチック使用量の削減、詰め替え品へのシフトなどを進めています
詳細は P.19



2010年代
エコ

2020年代～
オーラルケア



おくちからだプロジェクト
子どもたちの食を支えることも食堂やこども宅食を通じ、「歯と口の健康」をテーマにした体験プログラムを開発し、子どもたちの自己肯定感の向上に貢献していきます
詳細は P.12

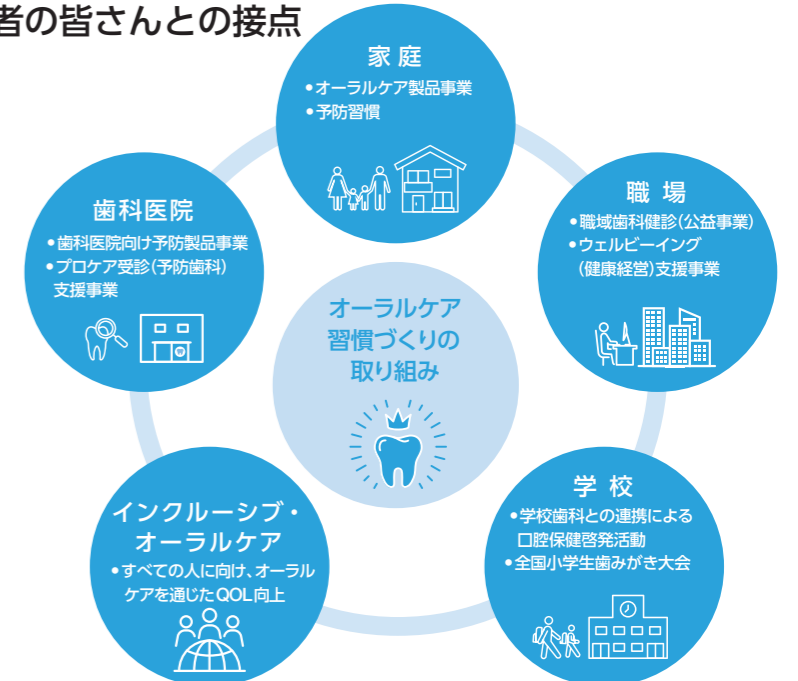


予防歯科習慣づくりで心と身体の実現

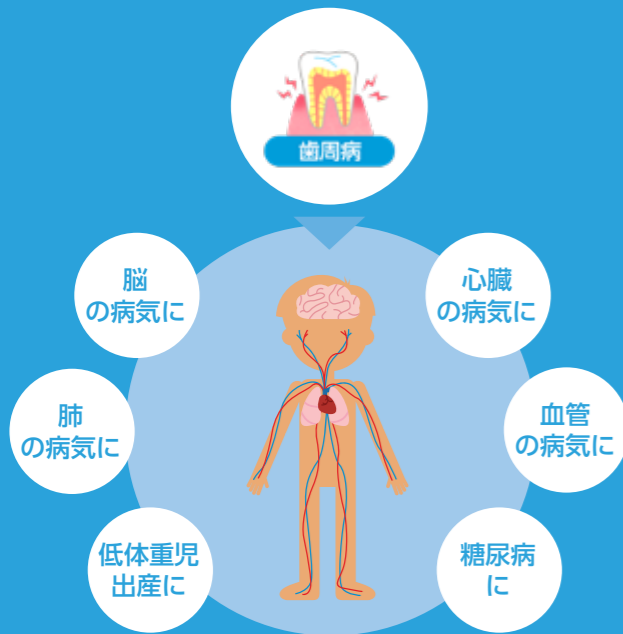
誰もがずっと健康的に笑顔で過ごすためには、お口の健康が重要です。お口の状態の維持改善を目的とした歯みがき習慣の定着に加え、「心と身体の実現」をテーマとして家庭や歯科医院などを通じた予防歯科習慣の定着に取り組んでいます。



生活者の皆さんとの接点



お口の健康は全身に影響する



お口の健康は全身に様々な影響があることがわかってきました。

歯周ポケットから入り込んだ細菌が持つ毒素や歯周病の炎症性物質が歯ぐきの毛細血管に入り、血液によって全身をめぐるためです。

歯周病と全身の健康との関連
出所: 8020推進財団発行小冊子「お口は万病の元」
https://www.8020zaidan.or.jp/viewer/booklet_202101.html

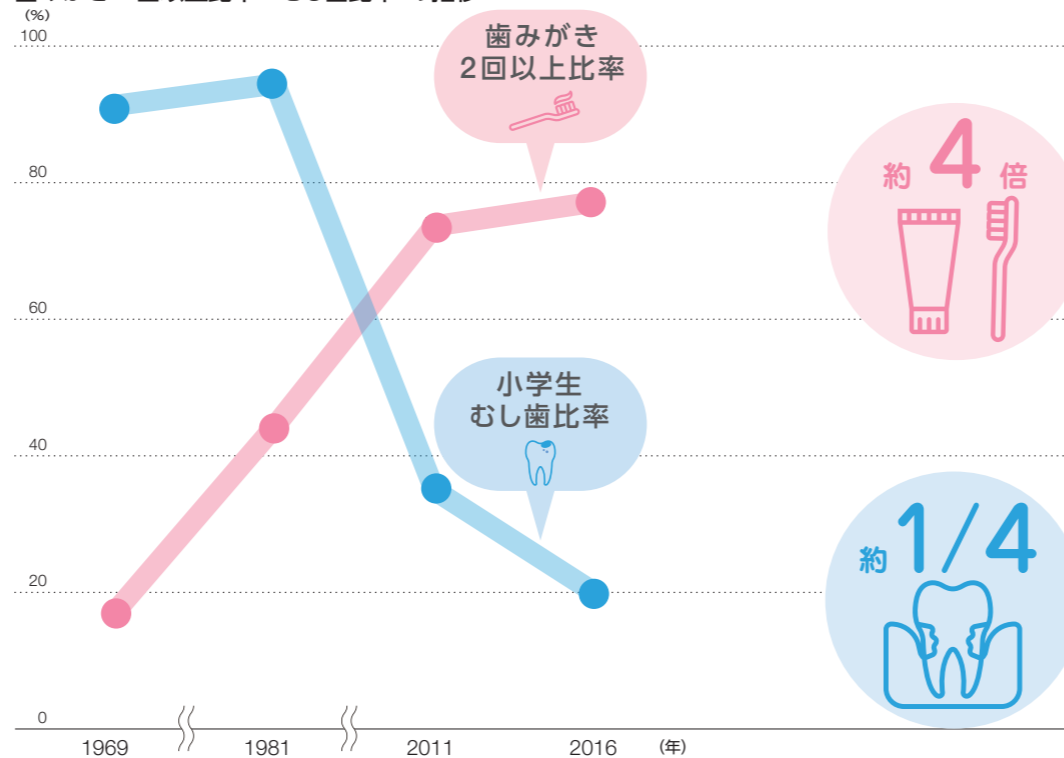
家庭で予防歯科習慣づくり

朝と夜だけでなく、昼もみがいてむし歯を予防しましょう

#歯みがき回数とむし歯の関係
#楽しく歯みがき→笑顔

歯みがき回数とむし歯

歯みがき2回以上比率・むし歯比率*の推移



約4倍
歯みがき2回以上比率

約1/4
小学生むし歯比率

50年前に比べて人々の歯みがき回数は増加しており、今では1日に2回以上歯みがきをする生活者の割合は約80%に高まり、この50年間で4倍に広がりました。

また、小学生のむし歯の比率は、この50年の間に約4分の1に下がっています。

昼歯みがき促進



オフィス用歯みがきセット
MIGACOT
ミガコット

ライオンは、むし歯や歯周病からお口を守るために、「1日3回、食べたら歯をみがく」ことを提案しています。昼食後の歯みがき(昼歯みがき)を促すため、オフィスなどの職場で歯をみがきたい人へのより快適な環境づくりを目的に、昼歯みがきに便利なコップ付きオーラルケアセット『MIGACOT』を発売し、歯みがき回数のアップによるむし歯比率の低下を目指しています。



家庭で予防歯科習慣づくり

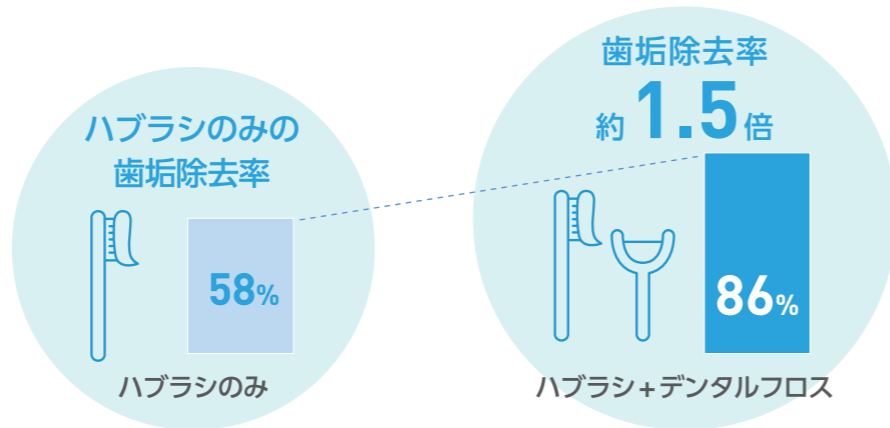
#ハブラシ以外の道具

デンタルフロスも使って、歯垢のみがき残しをなくしましょう

デンタルフロスの歯垢除去率

ハブラシの毛先は歯と歯の間には届きにくいので、ハブラシだけでは歯間の歯垢は落とすきれません。残った歯垢はお口のトラブルの原因になります。

そこで、デンタルフロスの活用が重要です。ハブラシと併用することで、歯垢除去率が約1.5倍に向上します。



出所：山本ほか 日歯周誌、1975

デンタルフロス使用促進

そこでライオンは、小学生以上の子どもや初めての人にも使いやすい商品を提供するとともに、デンタルフロスを使用する必要性を伝え、正しい使い方などの普及活動を行っています。

週に1~2回でも歯垢除去の効果がありませんので、まずは時間的に余裕がある夜から始めてみて下さい。



楽しく身につく歯みがきのうた「イ〜ハ〜」

小学生の子どもたちが、動画を見ながら楽しく正しい歯みがき習慣が身につけられます♪

動画(みがきかた編)

歯科衛生士が歌に合わせてレクチャーしていますので、みがく順番やポイントをマスターしましょう



<https://go-lion.jp/Corp015>

動画(アニメーション編)

気になるキャラクターとアニメで、楽しく見ながら歯みがきをして習慣化につなげましょう



<https://go-lion.jp/Corp016>

歯みがき順番ポスター

歯みがきの順番やポイントをイラストで確認し、実践してみましょう



<https://go-lion.jp/Corp017>

学校で予防歯科習慣づくり

全国小学生歯みがき大会

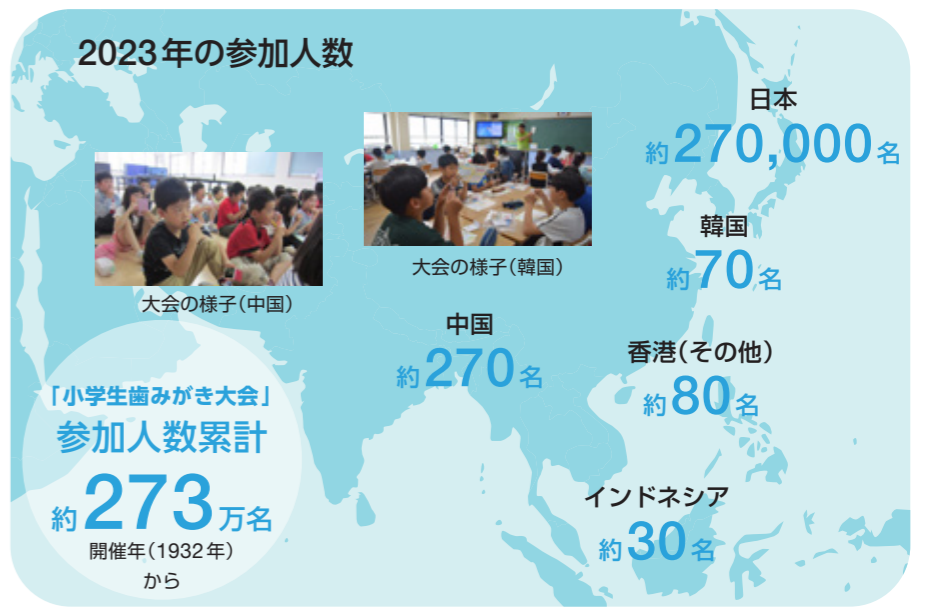
1932年から続いている「全国小学生歯みがき大会」は、毎年「歯と口の健康週間」の時期(6月4日~10日)に合わせて開催しています。参加校がそれぞれ実施日を設定し、無償で提供している教材(児童用ドリル、ハブラシ、デンタルフロスなど)を活用しながら約40分間のDVD教材を視聴しています。

参加児童は、歯並びやお口の状態に合わせた歯のみがき方、デンタルフロスの使い方を学び、「予防歯科」への理解を深めるとともに、生活習慣の「継続する力」の大切さを学びます。



海外での活動

「全国小学生歯みがき大会」は、日本だけにとどまらず、アジアを中心とする海外でも開催しています。また、各国の行政や歯科協会と連携し、保育所や小学校を訪問しみがき方を教え、実際にみがいてもらうという講座を行っています。また、子どもたちのみならず、地域住民の高齢者に対しても、イベントやセミナー、フォーラムなど啓発活動を行っています。



口臭リスクまで映す 身だしなみチェックツール



「口臭リスク」「歯の白さ」「笑顔」の3つのポイントをスマホでスマートに確認できます。

皆さんの毎日のコミュニケーションをサポートしていきます。

<https://go-lion.jp/Corp018>





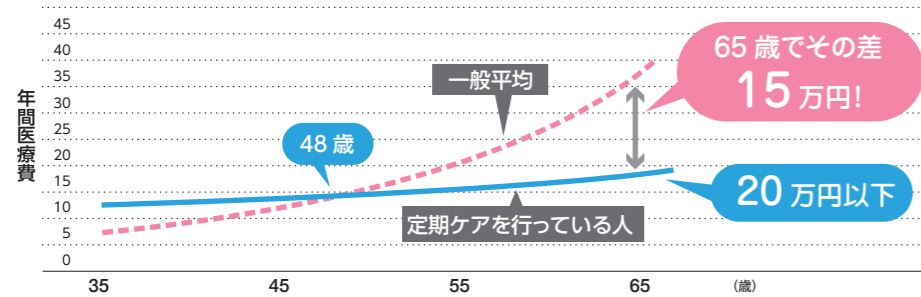
歯科医院で予防歯科習慣づくり

歯科医院で定期健診
歯科医院で歯みがき指導

定期的に歯科健診を受けましょう

定期歯科健診と医療費

年間総医療費の比較 (万円)



歯科医療費で年2回以上、定期ケアを行っている602人を抽出し、総医療費を調査。
出所: Dentalism2011 No.9 p24より引用

定期的に歯科健診を受診している人は、していない人に比べ総医療費(歯だけでなくすべての病気)が減少するという調査結果があります。「お口の健康は全身に影響する」ことのあらわれです。

歯科医院でできること

口腔内検査

歯や歯ぐきの状態のチェック、お口の中の細菌数の計測など。

歯のメンテナンス

高濃度のフッ素を歯に塗布するむし歯予防。普段の歯みがきでは落としきれない歯垢(プラーク)や、ハブラシでは落とせない歯石(歯垢が石灰化したもの)を、専用機器で取り除く歯の清掃。

歯みがき指導

一人ひとりのお口の状態に合ったセルフケア方法の指導。歯間ブラシやデンタルフロス使用のアドバイス。



職場で予防歯科習慣づくり

法人向けオーラルケアセミナー

企業の従業員様や自治体の職員様など向けに、「歯とお口の健康」に関するセミナーを提供しています。お口から始める健康習慣づくりのお手伝いを行い、オーラルヘルスケアの浸透に努めています。



すべての人に予防歯科習慣づくりの機会を

誰一人取り残さない
インクルーシブ

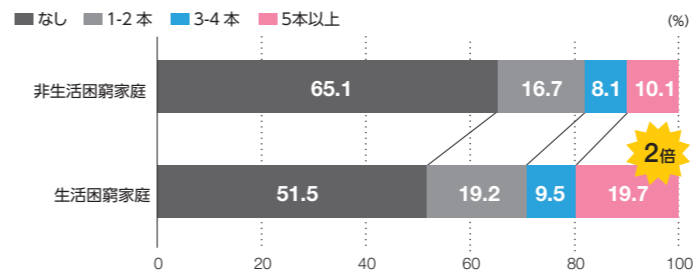
インクルーシブ・オーラルケア

貧困とむし歯との関係

日本では子どもの相対的貧困が社会問題化しており(貧困率:7人に1人の割合)、生活困窮世帯で育った子どもたちは、むし歯が多い傾向があります。また、そうした子どもたちは、あらゆる体験*が不足し自己肯定感が低いことも明らかになっています。

* 他者から褒められる体験、大人とのコミュニケーション、ライフスキルの獲得体験など

生活困窮世帯の子どものむし歯の状況



出所: 2016年 国立成育医療研究センター研究所社会医学研究部 足立区・足立区教育委員会



インクルーシブ・オーラルケア
おくちからだプロジェクト



<https://go-lion.jp/Corp019>

おくちからだプロジェクト

そこでライオンは、「歯とお口の健康」をテーマにした体験プログラムを独自に開発し、「予防歯科習慣の普及」と「自己肯定感の向上」に貢献する「おくちからだプロジェクト」をこども食堂を中心にNPO法人や自治体と連携して取り組んでいます。

プログラムを通じて子どもたちに提供する体験



今日からできるSDGsアクション



- ✓ 朝と夜だけでなく昼も歯みがきしましょう(1日3回)
- ✓ デンタルフロスや歯間ブラシなども使いましょう
- ✓ 定期的に歯科健診を受けましょう
- ✓ 歯科医院で歯みがきの指導をしてもらいましょう



清潔衛生習慣づくりで 心と身体 の健康の実現

世界では、不十分な衛生環境が原因で年間25万人の子どもが下痢性の病気で亡くなっています。また、新型コロナウイルス感染症の流行により、手洗いの重要性が再認識されました。*

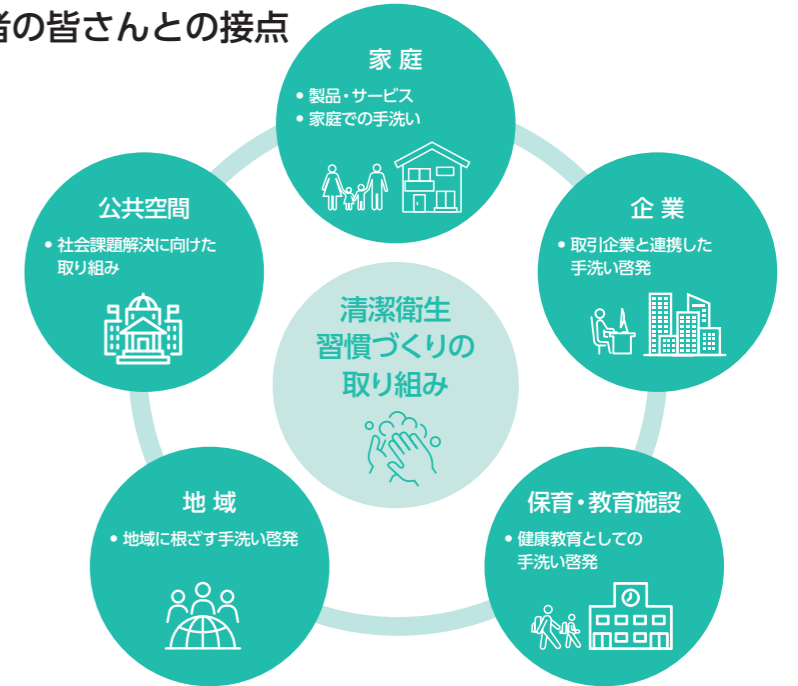
家庭のみならず、外出先でも手を清潔にする習慣はウイルス・細菌対策のうえでとても大事なことです。

ライオンは楽しく洗える殺菌ハンドソープを通じたアプローチで、製品とともに「正しい手洗い習慣づくり」に取り組んでいます。

*出所：公益財団法人 日本ユニセフ協会



生活者の皆さんとの接点



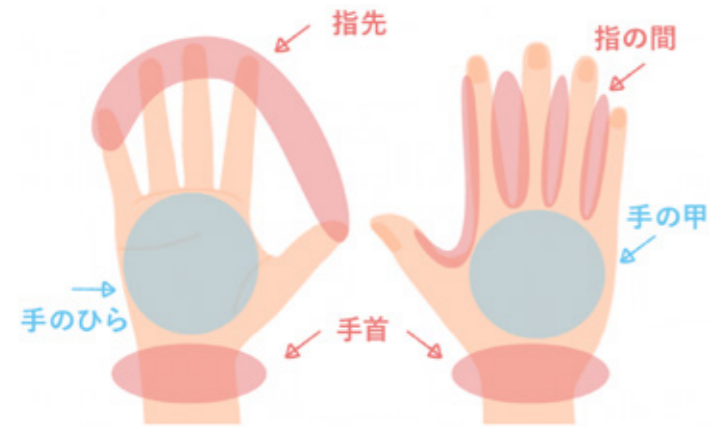
家庭で清潔衛生習慣づくり

#30秒手洗いで洗い残しをなくす
#使おうハンドソープ



正しい手洗い習慣

意外に多い手の洗い残し。手洗いの時間と部位に気をつけよう



●よく洗われている部位 ●あまり洗われていない部位

しっかり洗ったつもりでも、「指先」「指の間」「手首」は、意外に汚れが残っていることが多いです。「洗い残しのない」手洗いをマスターすることが大切です。

正しい手洗いできていますか？

そこでライオンは、イラストや動画を活用して正しい手洗い方法をお伝えしています。「洗い残しのない」手洗いを身につけましょう。

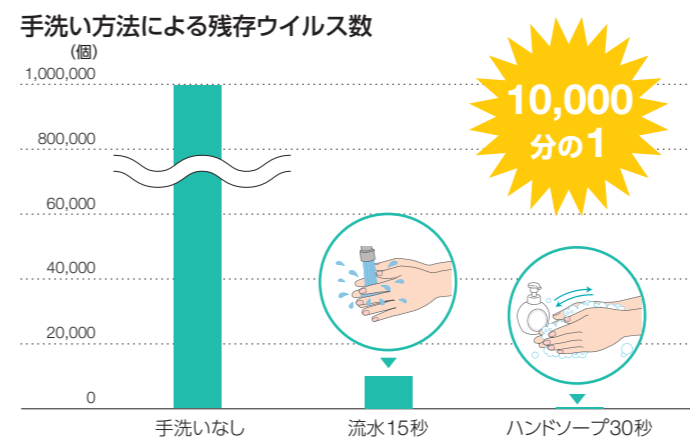


<https://go-lion.jp/Corp020>



ハンドソープを使う習慣

30秒しっかり洗うと ウイルスはほとんどなくなる



石けんやハンドソープの泡は汚れを吸い寄せる作用があります。手に付着しているウイルスは、流水のみの手洗いでは15秒で100分の1になりますが、ハンドソープを使った手洗いではもみ洗い30秒で1万分の1に減るといふ実験結果が出ています。

出所：森功次ほか 感染症学雑誌、80:496-500,2006
<http://journal.kansensho.or.jp/Disp?pdf=0800050496.pdf>

『キレイキレイ薬用泡ハンドソープ』

手をかざすだけで出てくるハンドソープ

自動的にたっぷり泡が出てくるから、力の弱い幼児でも手をかざすだけでハンドソープ手洗いが簡単にできます。衛生意識の高まりによる非接触ニーズにも対応しました。

マイボトル製作

子どもがハンドソープを使いたくなるように、マイボトル製作で子どもの関心を高め、自分から「したくなる」ための習慣づくりに取り組んでいます。



『キレイキレイ薬用泡ハンドソープ専用オートディスペンサー』



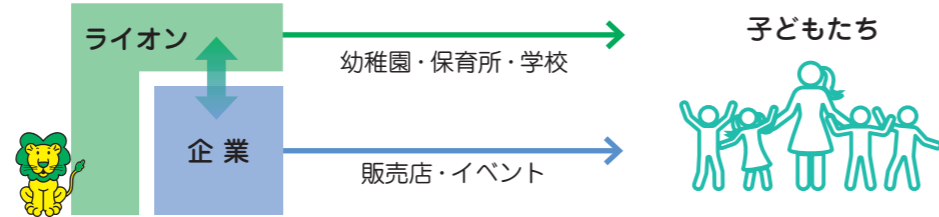


保育・教育施設、企業で清潔衛生習慣づくり

子どもたちへの正しい手洗い啓発活動

ライオンは、幼稚園・保育所・学校・企業と連携しながら、子どもたちへ正しい手洗い啓発活動を行っています。

約 **39,000** 名
の園児・児童がこの活動に参加
(2012～2022年累計)



幼稚園・保育所

若手社員の研修の一環として、2014年から開始し、100名前後の社員がチームに分かれ、全国の幼稚園や保育所で「おててをアラウータンたいそう」を一緒に歌いながら、園児に手洗いの大切さを伝えています。

学校

2021年から啓発活動を小学校へも拡大しました。社員がオンラインで参加するハイブリッド型の出張授業を行い、「自分と大切な人の健康を守る正しい手洗いを学ぼう」をテーマに、参加した児童が社員とともに考え、正しい手洗いについての理解と習慣の定着を図っています。

企業

事業を通して活動を広げるために、販売店と連携した活動も行っています。対象エリア内の幼稚園・保育所や店頭などで手洗い啓発活動を実施しています。



取引先と連携し幼稚園・保育所を訪問

キレイキレイ手洗いのうた

正しい手洗いに必要なポーズを、「ウナギ」「タコ」「イカ」などの生き物に例えて、子どもたちにも覚えやすくした体操です。



習慣づくりの取り組み



教室とオンラインをつないだハイブリッド授業

海外での啓発活動



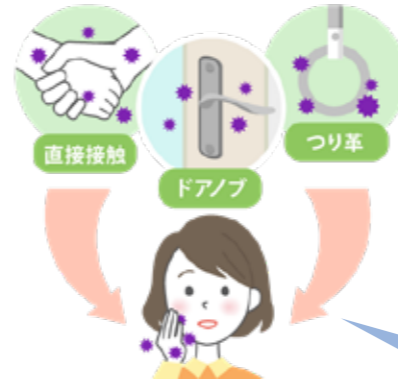
『キレイキレイ』ブランドのハンドソープは、2005年より海外展開を始め、現在では世界7カ国で事業を展開しています。商品の提供とともに、人々の清潔衛生意識の向上を目指し、清潔衛生習慣の定着活動を行っています。

習慣づくりの取り組み



公共空間で清潔衛生習慣づくり

外出先でもこまめに手洗い・消毒をしましょう



外出先での手のバイ菌・汚れに対する意識が拡大しています。不特定多数の人が触る場所は、ウイルスや細菌を持つ人が触った場合、接触感染のリスクがあります。外出先でも手洗いや手指の消毒を行うことが大切です。

不特定多数の人が触る場所とは？
電車やバスのつり革、エスカレーターの手すり、エレベーターのボタン、公園の遊具など

『青のキレイキレイ』シリーズ



『キレイキレイ薬用手指の消毒ジェルプラス』携帯用だから外出の際に持ち運びしやすくこまめに使えます。細口ノズルなので適量を出しやすく、ジェルタイプなので液だれを気にせず、いつでもどこでも使えます

地域で清潔衛生習慣づくり

自治体や企業と連携

手洗いなどを通して清潔衛生行動をリレーのようにつなげていくことで、前向きに過ごせる社会を目指す活動です。自治体・商店街・交通機関・レジャー施設などと連携し、街中での『キレイキレイ』製品の提供、手洗いソングや出張清潔衛生授業など、『キレイキレイ』独自の衛生コンテンツの提供をしています。それにより社会に清潔衛生行動の習慣化を広げています。



2023年6月より新たに開始した水戸市内の商品設置の様子



今日からできるSDGsアクション



- ✓ 正しい方法で手洗いをしましょう
- ✓ ハンドソープで手の洗い残しをなくしましょう
- ✓ 外でも手洗い・消毒をしましょう



節水・節電型商品を使う 習慣づくりで 脱炭素社会の実現

水は生きることに欠かせない最も重要な資源です。また、電気も私たちの暮らしになくてはならないものです。

ライオンは、生活者と共に作る「エコの習慣化」と、暮らしにムリない節水・節電で、「地球にやさしいライフスタイル」を提供し続けます。



ライオンの「暮らし、まいにち、エコ。」マーク



このマークは「ライオンエコ基準」をクリアした商品につけられます。この基準は、原材料調達から廃棄までの各段階における環境負荷を定量的に評価する、ライフサイクルアセスメント(LCA)の視点でライオン独自に設定しています。

<https://go-lion.jp/Corp021>



2022年には
約81%*
がこの基準をクリアした
エコ商品でした。

*ライオンの家庭品(オーラルケア、ビューティケア、ファブリックケア、リビングケア分野)の売上における割合

エコ商品を使って、CO₂削減に貢献しましょう

節水・節電と脱炭素(CO₂削減)

私たちの身の回りのできる「脱炭素」のキーワードは「水」です。意外に知られていませんが、節水は社会全体の節電やCO₂削減にもつながります。

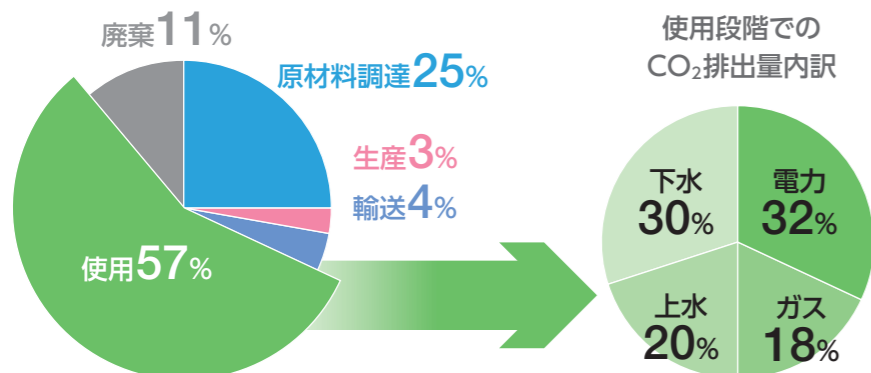
節水は社会全体の節電やCO₂削減に

CO₂は、石油や天然ガスなどのエネルギーを使うと発生し、発電や水を製造するときにもエネルギーを使いCO₂が発生します。

ライオン製品のライフサイクル*で最もCO₂を排出するのは商品の使用段階です。うち、上下水道・電気・ガスの順でCO₂の排出量が多くなっています。

つまり、家庭での節水・節電はみなさんが身近にできるCO₂削減です。
*製品の原材料調達から、製品を使用し、廃棄されるまでの一連の過程

ライオン製品ライフサイクル各段階のCO₂排出量



水・電力・CO₂も 約5割カット*

*すすぎ工程2回に比べ0回設定の場合



水	131L	45L	↓ 65%
電力	18Wh	10Wh	↓ 44%
CO ₂	124g	44g	↓ 64%

すすぎ2回洗濯
(国内洗濯機メーカー主要4社 縦型代表機種衣類1kg 弱水流コース洗濯時の平均値(自社実験データ))

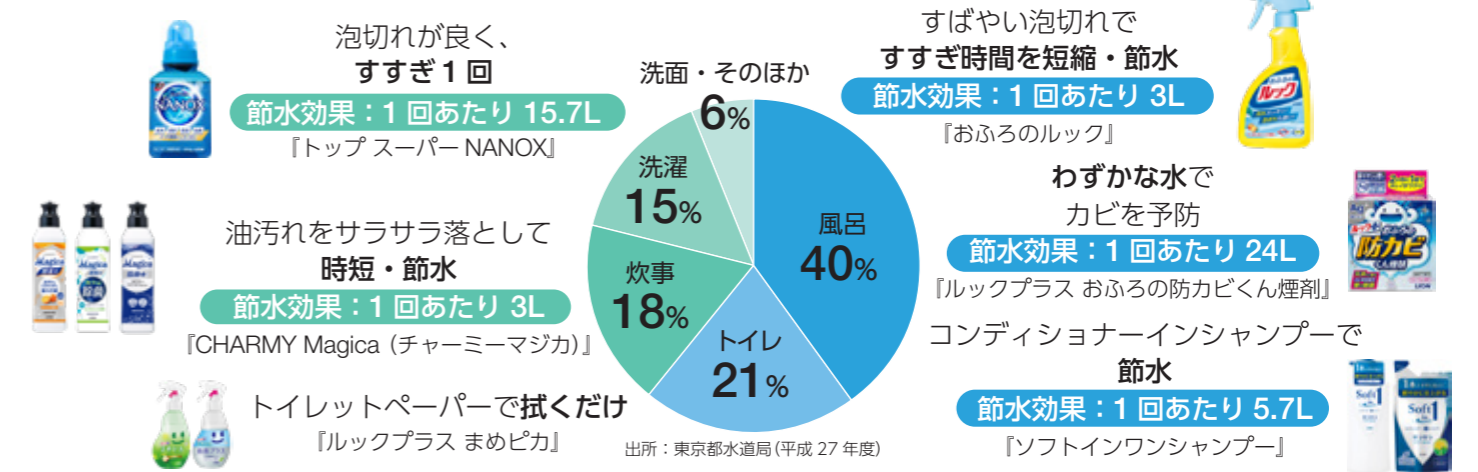
すすぎ0回設定
(アクリルスマートケア使用)

すすぎ工程が0回だから、お洗濯時に使用する水・電力、さらにCO₂の排出量まで半分になり、お洗濯できます。

家庭で使用される水の内訳と節水型商品

洗剤やシャンプーなどは少ない水でもきれいになる商品を選ぶだけで、使う水の量を減らせます。まずはできるところからチャレンジしてみましょう。

家庭で使用される水の内訳



今日からできるSDGsアクション

- ✓ 衣服を洗濯する時はすすぎ1回でOKの洗剤を選び、すすぎ1回にしましょう
- ✓ 節水ができる商品を知って、節水・節電でCO₂削減や家計にもやさしい行動をしましょう
- ✓ 商品パッケージをチェックして「暮らし、まいにち、エコ。」マークを探しましょう

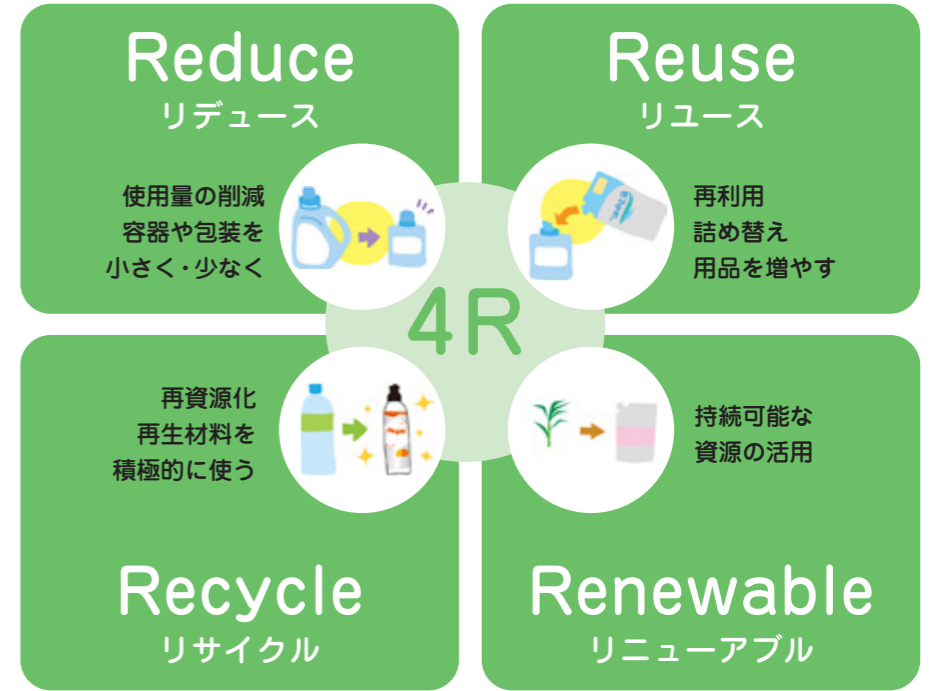
節水・節電で お得♪



4Rの習慣づくりで資源循環型社会の実現

プラスチック問題は、廃棄の際に生じるCO₂の排出や海洋プラスチックごみによる生物多様性への影響など、様々な環境問題とも関連しています。

ライオンは、右図に示した「4R」を進めています。使用するプラスチックは最小限とすること、使用したプラスチックはすべてを回収し再生することを目指し、課題解決にチャレンジしています。



Reduce (リデュース)

容器のコンパクト化によるプラスチック使用量削減

プラスチックの使用量

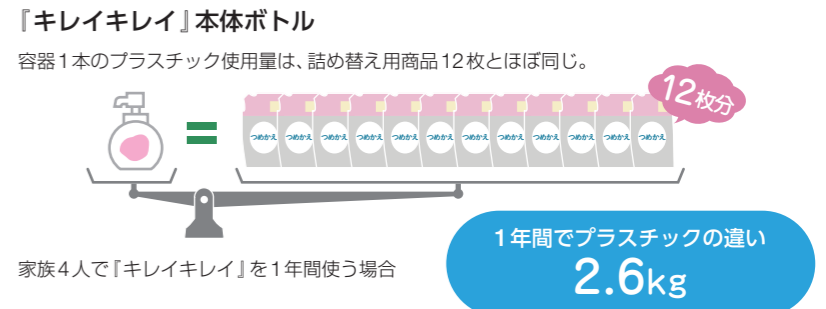


「トップスーパーNANOX」本体ボトル
洗剤を濃縮化し、本体容器をコンパクト化することでプラスチックの使用量を抑えています。また、キャップ類も機能を維持しながら軽量化しています。

Reuse (リユース)

日本の詰め替え文化をアジアへ

製品の本体と詰め替え品の出荷比率は、日本では約80%が詰め替え品になっていますが、アジアをはじめ他国ではまだまだ詰め替え品の比率は低い状況です。日本の詰め替え文化をアジアへ広げ、世界のプラスチック使用量削減を目指しています。



Recycle (リサイクル)

使用済み製品容器のリサイクル



「CHARMY Magica」本体ボトル
飲料用PETボトルなどからの再生PET樹脂を約10% (重量比) 使用しています。

再生プラスチック使用率 10%

つめかえフィルムのリサイクル実証実験

花王株式会社とライオン株式会社はプラスチック容器・包装資源のリサイクルにおいて、回収の基盤となる仕組みの構築とリサイクル技術の開発を行っています。プラスチック容器・包装資源は、他企業や自治体と協働で、店頭などで回収を進めています。



ハブラシ・リサイクルプログラム

捨ててしまえばごみとなる使用済みハブラシを回収・リサイクルし、新しいプラスチック製品に生まれ変わらせるプログラムです。参加者は、回収量に応じてプラスチック製品との交換や、任意の慈善事業団体に寄付することができます。



2023年5月末時点
1,300か所
約130万本

Renewable (リニューアブル)

バイオマス(植物由来)プラスチックの採用

一部の商品の容器・包装材料には、サトウキビから砂糖をつくるときに残る「廃糖蜜」やトウモロコシ (非可食部である芯) などの植物を原材料の一部とするバイオマスプラスチック (植物由来のプラスチック) を採用しています。

「キレイキレイ薬用ハンドコンディショニングソープ詰め替え」
バイオマスプラスチック使用率 10%*
* 2022年実績



今日からできるSDGsアクション

- ✓ 詰め替え品を購入し、本体容器に詰め替えしましょう
- ✓ ワンウェイ (使い捨て) プラスチックの使用をやめましょう
- ✓ 分別してプラスチックのリサイクルに参加しましょう

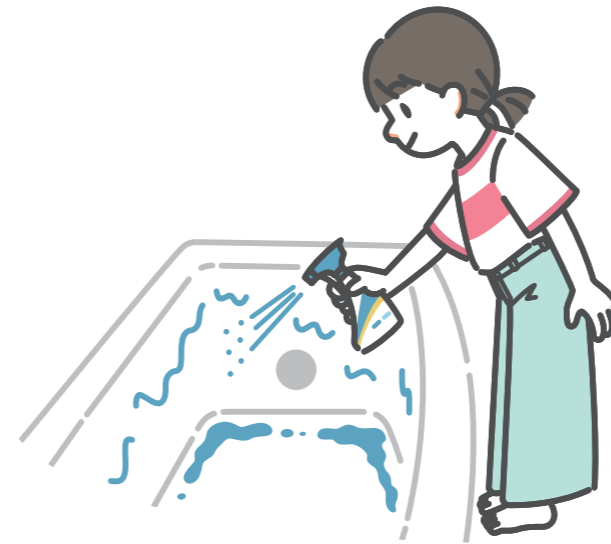
エコ習慣でいつの間にか環境貢献



楽しい家事シェア習慣づくりでジェンダー平等の実現

家庭での役割と性別の組み合わせは、本来どこまでも自由なはず。

ライオンは家事を通じて家庭の円満を応援することで、女性の社会進出や少子化など様々な社会課題の解決のサポートに取り組んでいます。



『CHARMY Magica 速乾+ (プラス)カラッと除菌』

すばやい水切れで食器が速く乾きま
す。家事の時短になるので、家族の時間
が増えます。



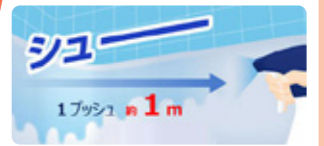
『ルックプラス バスタブクレンジング』

浴そう全体に吹きかけ、60秒後に流
すだけで浴そうをこすらず洗えます。



お風呂掃除が
簡単になるヒミツ

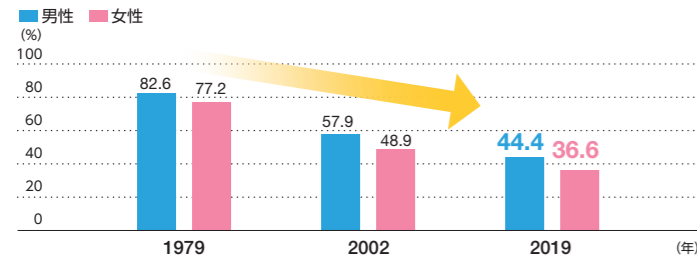
容器開発の技術で、シューーッと
1プッシュで約1m幅に広がるミストを
実現。洗剤を浴そう全体に簡単に
かけられます



家族みんなで家事シェアがジェンダー平等の第一歩

日本人の家事の意識と家事時間

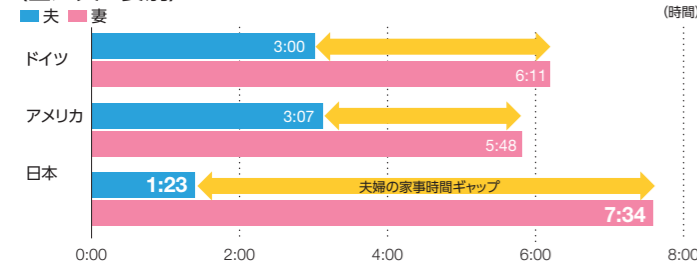
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する賛成の割合



出所：令和2年版「男女共同参画白書」(概要)内閣府男女共同参画局

約40年前、「夫は外で働き妻は家を守るもの」という固定概念が約8割の人にありました。現在ではその比率は約4割まで減りました。

6歳未満の子を持つ夫婦の1日の家事・育児にかかる時間(国/夫と妻別)



出所：令和2年版「男女共同参画白書」内閣府男女共同参画局

一方、日本の夫の家事時間は、アメリカやドイツの半分以下で、日本の妻の家事負担が多いのが現状です。

Kaji × Kaji ハッピーシェア



「働く女性が増える中、家事分担に不公平感がある」という課題に着目し、家族みんなが家事に参加できるよう、暮らしに役立つ商品の提供とともに、「Kaji × Kaji ハッピーシェア」活動に取り組んでいます。家族でシェアするためのコンテンツ提供や、自治体や他企業などとも連携したセミナーの開催をしています。家事シェアの推進を通じて、ジェンダー平等な社会の実現を目指しています。

まずはご自宅で

ハッピーに家事をシェアするための大切なポイントがつかめる「家族円満マニュアル」や「食器洗いチェックすごろく」などを活用し、自宅でやってみましょう

<https://go-lion.jp/Corp022>



家事セミナー

家事スキルと家事シェアのコツという2つのレクチャーでセミナーを実施しています。

2023年6月末時点で4つの自治体と連携して実施しました。



家事分担をやった男性の声：

やってよかったと思った

ライオンが開催した家事セミナーへの参加者に、家庭での実践の感想を聞きました。

- ・家事を分担すると、かかる時間は半分。あとは家族の時間が作れる。
- ・共通の話題が増えた。「今度ここを掃除しようよ」など。
- ・子どもの自立が促せたと思う。「お父さんがやるなら、私もやってみようかな」など。



今日からできるSDGsアクション



- ✓ 家事負担を軽減する商品やテクニックを使い、時間と手間を省きましょう
- ✓ 自宅で家事円満マニュアルを確認しましょう
- ✓ 家族みんなで家事をシェアしましょう
- ✓ 家事セミナーに参加しましょう



従業員の成長と 会社の発展の実現 ——ライオンで働く人たち

どのように人材を活かしていますか？

従業員の働きがいや志(こころざし)、モチベーションを高めることが、生産性の向上と、新しい価値の創出につながると考えています。そのためライオンでは、多彩な人材の活躍、多様な働き方、主体性を活かす人材開発とともに、健康サポートとより良い職場環境づくりに努めています。



人材開発

従業員が自律的に社内外の知見を習得して成長につなげられるようサポートをしています。

ライオン・キャリアビレッジ(LCV)

学びのスタイルの変化に対応しながら新たな学習機会を創出するため、2019年、学びのプラットフォームである「ライオン・キャリアビレッジ(LCV)」を導入しました。動画を中心としたe-ラーニングと少人数の討議形式プログラムがあり、従業員の自律的な学びの習慣化に貢献しています。



新事業創出「NOIL」

新しい価値を事業として生み出すことが目的の社内ベンチャープログラム。2019年から開始し、経営層と外部専門家に認められた提案は、自らの手で事業を立ち上げていきます。



事業化の実現例 **おうちハック!**

マンネリ化した日常に変革をもたらすサービス「休日ハック!」を提案し、会社を設立しました。

まずは、外出向けのサービス「休日ハック!」を展開。



コロナによるおうち時間需要の拡大により、自宅で楽しめる体験キットをお届けするサービス「おうちハック!」を実施。さらに「街ハック!」という街全体を体験に変えるサービスも開始し、お客様や社会環境の変化を捉え、事業を拡大しています。



今後も、新たな生活習慣や価値をオモシロおかしく提供していきます。

株式会社休日ハック 代表取締役社長
田中 和貴



企業行動の変革「LION ACADEMIA」

LION ACADEMIAは、「問いを立て学び合う場として、ひとりひとりの大志を共に実現していきます。」という存在意義を掲げ、ライオンを自ら仕掛ける組織風土に変革していくことをビジョンとして活動しています。



ビジョン実現のためにThe CAMPUSというコンセプトをもとにコミュニティを運営し、多くの社内外のコラボイベントや情報発信を行っています。



新本社を活用したコミュニティ活性化イベントの様子



事務局リーダー
清水 寛太

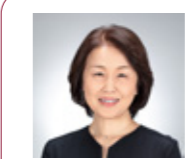
より多くの方が、“大志”を見出して実現できるような機会を提供できるように、日々楽しく真剣に活動しています。

ダイバーシティ&インクルージョンの推進

グローバルで持続可能な企業を目指すライオンは、従業員のキャリア、家事、育児のジェンダー・ギャップ解消に取り組んでいます。

世界の中でジェンダー・ギャップ指数*の低い日本では、男女の役割意識に関する思い込みを多くの方が持っています。その思い込みを超えて、男女にかかわらずチャレンジしやすい環境づくりで、働き方やキャリアの多様性をサポートします。

* 146カ国中116位(グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2022)



ダイバーシティ&インクルージョン推進専任部長
山内 あずさ

取り組み

2022年より経営層、部門長を対象としたアンコンシャス・バイアス勉強会を実施しています。今後は管理職、従業員一人ひとりに学びを広げ、お互いを受容し、多様で多彩な人材が活躍する組織づくりを進めていきます。



ワークライフエンリッチメントの推進

従業員一人ひとりが働きがいを持って自律的に働ける職場環境を整備しています。テレワーク、フレックスを活用した自律的な働き方は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後も継続していきます。

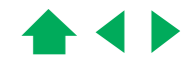


従業員の健康増進

従業員が健康であることは、会社としても生産性や創造性が高まります。そのため、ライオンでは毎年、すべての従業員に対して歯科健診を実施するほか、予防的歯科受診や三大ガン健診の費用補助、個人のスマートフォンで健診結果や健康リスクの閲覧、食事や運動の記録ができる独自の健康情報アプリ活用など、より良い健康行動の習慣化に取り組んでいます。



歯科健診の様子



社会や環境に 配慮した原材料の 調達・使用

どんな社会・環境問題があるの？

ライオンの商品には、海外から原材料を調達しているものもあります。一方、特に発展途上国では森林破壊などの環境問題や、人権侵害などの社会問題をはらんでいます。ライオンは各種認証制度を活用し持続可能な調達を進めています。



発展途上国の農園にひそんでいる 環境・社会課題



持続可能なパーム油の調達

パーム油は、アブラヤシという植物から採れる植物油であり、日本をはじめ多くの国が輸入に頼っています。このパーム油調達の過程では、違法森林伐採による森林破壊や児童労働（子どもが農園で働く）、搾取的な低賃金労働などの人権・労働問題が指摘されています。



RSPOへの加盟

ライオンは、2006年から「持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO)」に加盟し、2012年からRSPOの認証基準（環境や社会に悪影響を与えないなど）を満たしたパーム油の調達を進めています。消費者向け商品のパーム由来の主要原料に関して、2022年のRSPO認証率は約99%でした。



パーム油が使用されているライオンの商品例「ソフラン アロマリッチ」(左)「トップスーパー-NANOX」(右)



パーム油の原料となるアブラヤシの実

持続可能なミントの調達

ライオンのハミガキの香料には、上質な天然ミントを使用しています。その一つである「和種ハッカ」は、インドで多く生産されています。しかしインドでのミント生産では、持続可能な労働条件や生産条件などが整えられた「認証農家」が不足しています。



和種ハッカと認証農家

認証ミントへの切り替え

ライオンは、ハミガキに使用するすべての「和種ハッカ」について、厳しい審査を通った認証ミント*1への切り替えを進めています。ライオンは、認証ミントを調達・継続購入することで、認証農家の拡大を促進し、サステナブルなミント生産の仕組みの実現を支援しています。

- *1 持続可能な農業サプライチェーンを支えるSAI (Sustainable Agriculture Initiative) Platformが提供する、経営・環境・労働・生産に関する条件が揃い、FSA (Farm Sustainability Assessment) *2の検証を受けた「認証農家」が生産するミント
- *2 農場経営の持続可能性、SAI Platformからの127の質問回答によって検証格付け



認証ミントが使用されているライオンの商品例「デンタークリアMAX」

持続可能な紙・パルプの調達

ライオンは商品の包装などに、木材を原料とする紙・パルプを使用しています。一方で、世界では森林破壊によって、2004年から2017年の間に、4,300万ヘクタール以上の森林が失われています。これは日本国土の1.2倍に相当する大きさです。



出所: WWFジャパン 「森林破壊の最前線」最新報告書を発表 <https://www.wwf.or.jp/activities/activity/4547.html>

FSC®認証紙の使用

ライオンは、FSC®認証紙などの第三者認証紙の調達を進めています。2022年時点で、主要商品の約99%に国内原紙メーカーから調達した第三者認証紙を使用しています。



* Forest Stewardship Council®, 森林管理協議会。責任ある森林管理を世界に普及させ、森林の適切な利用と保全のために活動することを目的とする国際的な非営利団体

FSC認証ラベル: 「森林の管理が環境や地域社会に配慮して適切に行われているかどうか」を評価・認証し、そうした森林から生産され、その他適切な森林資源の使用につながる原材料を使用した製品であることを証明するもの



今日からできるSDGsアクション



✓ 買い物をする際はサステナブルな認証マークやラベルをチェックしましょう



生物多様性保全活動



生物多様性とは？

自然の中では、動物や植物、微生物など様々な生物が関わり合い、バランスを取りながら生態系を形成しています。このように、たくさんの生き物がいることや、そのつながりを「生物多様性」といいます。

私たち人類もこの一員として多くの恩恵を受けていますが、今、生物多様性は世界中で危機的な状況にあります。その原因は、自然資源の過剰な利用、外来生物の持ち込み、海洋汚染など人間による活動が影響していると指摘されています。

ライオンの生物多様性保全の考え方

ライオンは、水やパーム油などの自然資源を使用して様々な商品をお届けしています。一方で、工場などでの排水や温室効果ガスの排出、さらには商品使用後の容器の廃棄に至るまで、生産から商品の使用後までのすべての場面で生物多様性に影響を与えています。

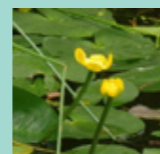
そこで、自然資源の持続可能な利用に努めるとともに、自然共生社会の実現に積極的に貢献することを目指し、生物多様性の保全に取り組んでいます。

ライオンが取り組む生物多様性の保全活動

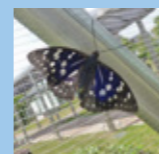
国内全15カ所の
事業所・オフィスで活動中

- 生物の生息環境の保全
- 姿を消しつつある動植物の保護・増殖
- 失われた自然の再生・復元

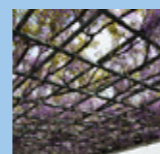
11 LSC小野事業所*4
(兵庫県)
ため池の水生植物保全活動



12 明石工場(兵庫県)
エノキビオトープ整備活動
(国蝶オオムラサキ育成)



13 大阪オフィス
のだふじ育成活動支援



14 大阪工場
アカウミガメの保護活動参加



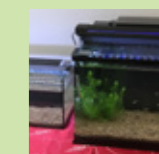
15 福岡オフィス
博多湾自然環境保護活動
支援(ラブアース活動、和
白干潟を守る会)



1 札幌オフィス
(北海道)
札幌ワイルドサーモンプ
ロジェクト(SWSP)参加



2 仙台オフィス
(宮城県)
井土メダカ里親制度参加



3 LCCFC*1(茨城県)
白砂青松再生
プロジェクト活動



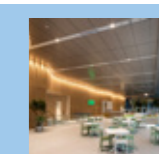
4 千葉工場
里山ビオトープ整備活動



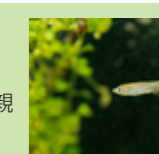
5 平井研究所(東京都)
江戸川下流および東京湾
の環境整備



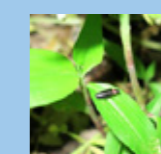
6 本社
台東区との生物多様性
ワークショップ開催



7 小田原工場
(神奈川県)
・酒匂川水系のメダカ里親
制度参加
・ホタルの育成



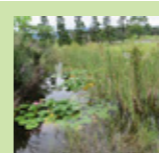
8 名古屋オフィス
(愛知県)
名古屋城ヒメボタル保護
活動支援



9 LSC 四日市事業所*2
(三重県)
吉崎海岸の保全活動参加
(海岸清掃、外来植物種
駆除)



10 LCCOC*3(香川県)
トンボ池(ビオトープ)整
備活動



今日からできる SDGs アクション



- ✓ 保全活動を知ってみましょう
- ✓ 保全活動を考えてみましょう
- ✓ 保全活動に参加してみましょう

*1 ライオンケミカル(株)ファインケミカル事業所
*2 ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)四日市事業所
*3 ライオンケミカル(株)オレオケミカル事業所
*4 ライオン・スペシャリティ・ケミカルズ(株)小野事業所



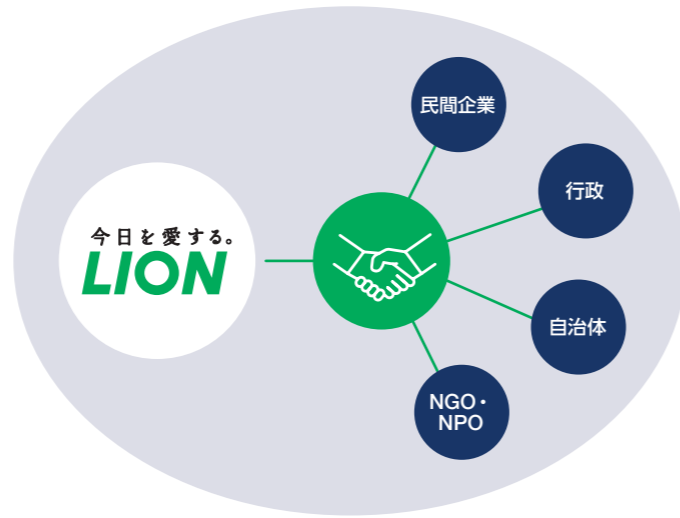
パートナーと目指す 持続可能な社会の実現



なぜ様々なパートナーと協働するの？

世界中のあらゆる人たちの協力なしにはSDGsの目標は達成できません。お互いの得意分野や専門性を持ち寄ることができれば、双方の相乗効果が発揮できると考えています。

ライオンは、SDGsの活動において、製品・サービス、資金や技術、体制面で行政や自治体、NGO・NPO、そして民間企業と取り組み、パートナーシップを推進しています。



民間企業との取り組み

みんなでボトルリサイクルプロジェクト

使用済み容器の回収とボトル容器の水平リサイクルを目指し、4社*を中心とした共同の実証事業に参画しています。

このプロジェクトでは

1. 日用品容器の分別回収・リサイクルの仕組みの検討
2. ボトル容器からボトル容器への水平リサイクル技術の検証に取り組んでいます。仕組みが確立できれば全国に広げていくことが可能になり、水平リサイクルにより、新たな資源投入の大幅な抑制が期待できます。

* P&Gジャパン合同会社、花王株式会社、ユニリーバ・ジャパン、ライオン株式会社

水平リサイクルとは？



同じものから同じものに生まれ変わらせるリサイクルのことです。

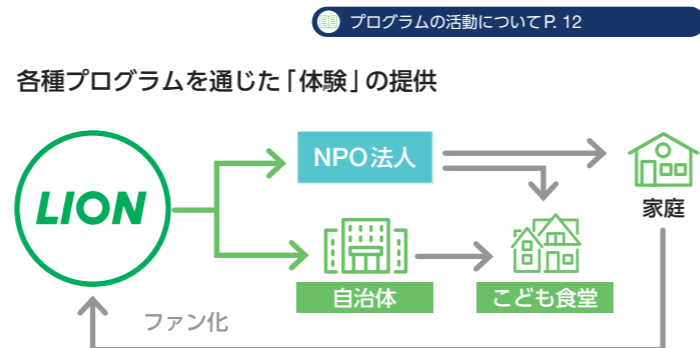
ボトルを作るために新しい材料を使うことなく、すでにある資源を活用して循環させるリサイクル方法です。

NPOとの取り組み

インクルーシブ・オーラルケア「おくちからだプロジェクト」

子どもの相対的貧困などによる健康格差が社会課題としてある中、ライオンはインクルーシブ・オーラルケアの取り組みとして、NPO法人や自治体と連携し、子どもを支える「仕組み」を構築します。

2021年、ライオンと認定NPO法人フローレンスおよび認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえは協定を結び、オーラルケアに関する各種プログラムを通じた「体験」の提供による歯と口に関する基本的な知識習得と、子どもたちの自己肯定感の向上を目指して活動中です。



行政との取り組み

エコ・ファースト企業

ライオンは2008年に製造業として初めて環境省のエコ・ファースト企業*に認定されました。以来、他のエコ・ファースト企業および環境行政との連携を強化し、地球環境問題に対する取り組みを進めています。

活動の一つとして、小中学生が環境問題について考えるきっかけづくりとなる「エコとわざ（『エコ』な『ことわざ』）」コンクールを開催し、環境意識の醸成に貢献しています。

* 企業が地球温暖化対策、廃棄物削減・リサイクル推進など自らの環境保全に関する取り組みを約束し、環境の分野において「先進的、独自のでかつ業界をリードする事業活動」を行っている企業であることを、環境大臣が認定する制度（2023年4月現在：全66社）



自治体との取り組み

東北に元気を love.石巻

宮城県石巻市はライオン創業者である小林富次郎のゆかりの地でもあることから、2011年の東日本大震災以降、当社独自に復興支援活動を継続しています。

2019年、市民の皆さんの健康増進と地域の活性化を図るために、石巻市と包括連携協定を締結しました。地域のオーラルヘルスケアリーダー育成支援のための講習会を開催し、市報や市内での各種イベントにおいてオーラルに関する情報発信を続けています。



東日本大震災におけるライオンの取り組み
<https://go-lion.jp/Corp023>



オーラルヘルスケアリーダー養成講座の様子



山梨市の小学生と丸太切り体験

ライオン山梨の森

2006年から水資源保護や従業員の環境意識の醸成を目的として、山梨県山梨市でCO₂を吸収する森林の保全・整備活動を行っています。ライオンは森林整備への協賛金を提供するだけでなく、従業員のボランティアや新入社員研修で森林整備活動を行うとともに、地域の方々との交流も行っています。



ライオン山梨の森
<https://go-lion.jp/Corp024>

キレイキレイのまち坂出プロジェクト

『キレイキレイ薬用ハンドソープ』やハブラシとハミガキの生産工場があることから、ライオンと香川県坂出市は、市民の衛生習慣の浸透・定着を目的としたプロジェクトを協働で推進しています。市民の皆さんに手洗いや歯みがき習慣の大切さを伝え、健康増進を支援しています。



キレイキレイのまち坂出プロジェクト
<https://go-lion.jp/Corp025>



プロジェクトのPRをするライオンちゃん

サステナビリティ専門家からのコメント



上田 壮一 (うえだ そういち)
一般社団法人 Think the Earth
理事/プロデューサー

広告代理店勤務を経て、2001年に Think the Earth 設立。以来、コミュニケーションを通じて環境や社会について考え、行動するきっかけづくりを続けている。主な仕事に「地球時計 wn-1」、プラネタリウム映像「いきものがたり」、書籍「百年の愚行」「1秒の世界」「気候変動+2℃」ほか。2017年に「SDGs for School」プロジェクトを開始し、2018年に「未来を変える目標 SDGs アイデアブック」を編集・発行した。多摩美術大学客員教授。

東京・両国にあるライオン本社を訪れると、会社の歴史が展示されている空間があります。そこで強く目を引く展示物に出会いました。創業者の小林富次郎氏が1900年に発売した『慈善券付ライオン歯磨』です(3ページ参照)。ホームページには創業者による「慈善券の趣旨」として次のような記述があります。「人はただ己の利欲のためにのみ生活するのではなく、事情の許す限りは公益をはかり、他人の不幸を憐れみ、薄命者を救済するために博愛慈善の心掛けを要す」。いまから120年以上も前に、SDGsの誓いでもある「誰ひとり取り残さない」に通ずる精神で、当時この事業を20年も続けられています。ハミガキ粉の売上げを使うわけですから、本業を通じた社会貢献事業の先駆けとも言えます。その実績はこの冊子に紹介されている数々の活動につながっていると感じます。

いま多くの企業がSDGsの取り組みを始めていますが、単に企業の外側にあるSDGsと既存事業を結びつけることのみには終わってはいけません。企業の内側にある創業者の想いや利他的な精神を次の世代へと受け継ぎ、本気で未来の社会を変革する志を見つめ直し、新たな活動をつくる機会をSDGsが与えてくれているのだと思います。創業者の想いに支えられたライオンの未来へのポテンシャルに大いに期待しています。



山口 真奈美 (やまぐち まなみ)
サステナビリティ・アドバイザー
一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会 代表理事

研究所勤務などを経て2003年独立。2006年より外資系認証機関日本法人立ち上げおよび代表も12年兼務。2017年日本サステナブル・ラベル協会設立。専門は、国際認証、持続可能な責任ある調達、SDGs、CSR、エシカル消費など。サステナビリティ・アドバイザー、環境・国際認証専門家として、コンサルティング・アドバイザーや教育研修のほか、エシカル&サステナブルなライフスタイルが浸透する社会への変革を目指し、一般社団法人日本エシカル推進協議会 副会長、ほか様々な活動にも従事。経済学修士、学術修士。

ライオンのサステナビリティ。人々の「心と身体のヘルスケア」への貢献を通じて、まだ見たことのない幸せをつくり出し、私たちの日々を“リ・デザイン”していく。それこそ、SDGsが掲げる2030年の姿へとつながっています。そのためには、それまでの日々の歩みが重要となりますが、個々のSDGsの目標と貢献活動から、「今日を愛する。」というシンプルかつ深いメッセージと習慣を通じた変革への歩みが読み取れます。

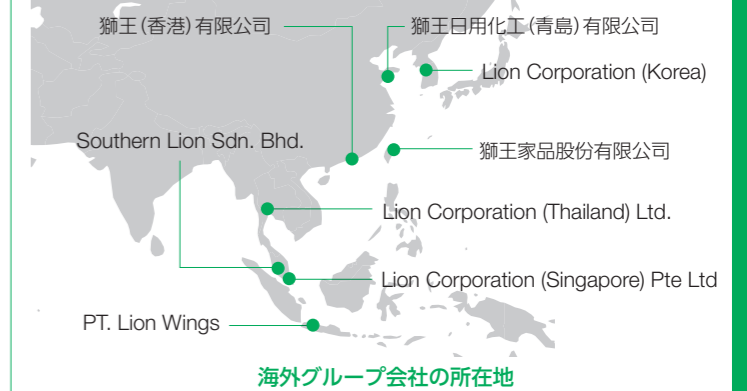
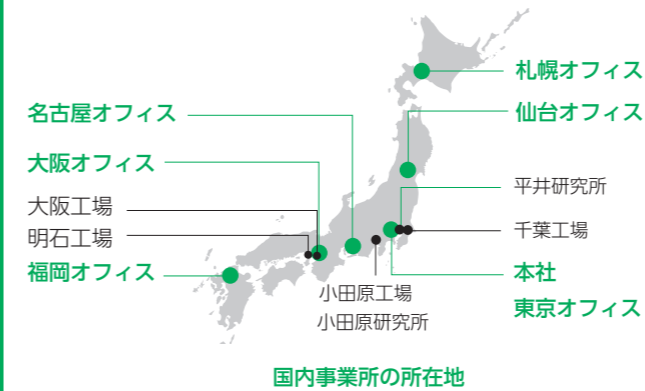
国内外、世代を超えて、創業当時から事業を通じて社会のお役に立つ精神のもと、長期的・継続的に取り組んできた姿は素晴らしく、オーラルケアや手洗いの習慣は健康と福祉につながり、人の心が健全になることで、社会的課題の解決の糸口にもなり得ます。また、社会・環境問題の解決に向けた原材料調達では、サプライチェーンの透明化が求められますが、各種認証を活用しつつ、さらに廃棄、気候変動への対策まで、包括的に対応がなされています。それはすなわち、「誰ひとり取り残さない」に通じているとも言えましょう。従業員の皆様は本当にライオンそして今日を愛し、自社内そして事業を通じて、多くの関係者に様々な貢献をされている姿が印象的でした。より一層求められる、社会変革への実践のリーディングカンパニーとして今後の活躍を期待しています。

会社概要 (2022年12月31日現在)

商号 ライオン株式会社(Lion Corporation)
創業 1891年(明治24年)10月30日
設立 1918年(大正7年)9月

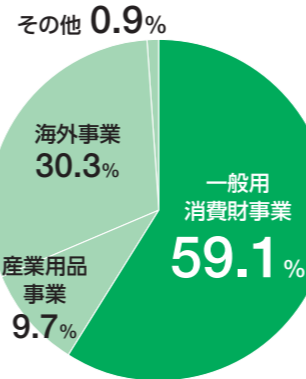
資本金 344億3,372万円
本社所在地* 〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28
従業員数 3,190名(ライオングループ7,587名(連結))

* 2023年4月に本社を移転しました。



事業構成

2022年度 事業別売上高



オーラルケア分野

ハミガキ、ハブラシ、デンタルリンスなど



ビューティケア分野

ハンドソープ、ボディソープ、制汗剤など



ファブリックケア分野

洗濯用洗剤、柔軟剤、衣料用漂白剤など



リビングケア分野

台所用洗剤、住居用洗剤、調理関連品など



薬品分野

解熱鎮痛薬、点眼剤、皮膚薬など



その他の分野

機能性表示食品、ギフト品、ペット用品など

